

ひとり情シスのための RPA導入ガイド

～RPAで中小企業の経営を強くする～



ひとり情シスのためのRPA導入ガイド
～RPA導入で会社も人生も大きく変わる～

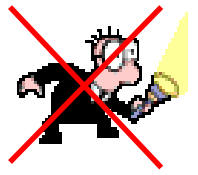
著者 福田 敏博
toshihiro.fukuda@gmail.com

技術士（経営工学部門）
中小企業診断士
情報処理安全確保支援士
公認システム監査人（CSA）
公認内部監査人（CIA）
米国PMI認定PMP
ITコーディネータ
高度情報処理技術者（ST・AU・PM・NW・SC）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4865941835/>

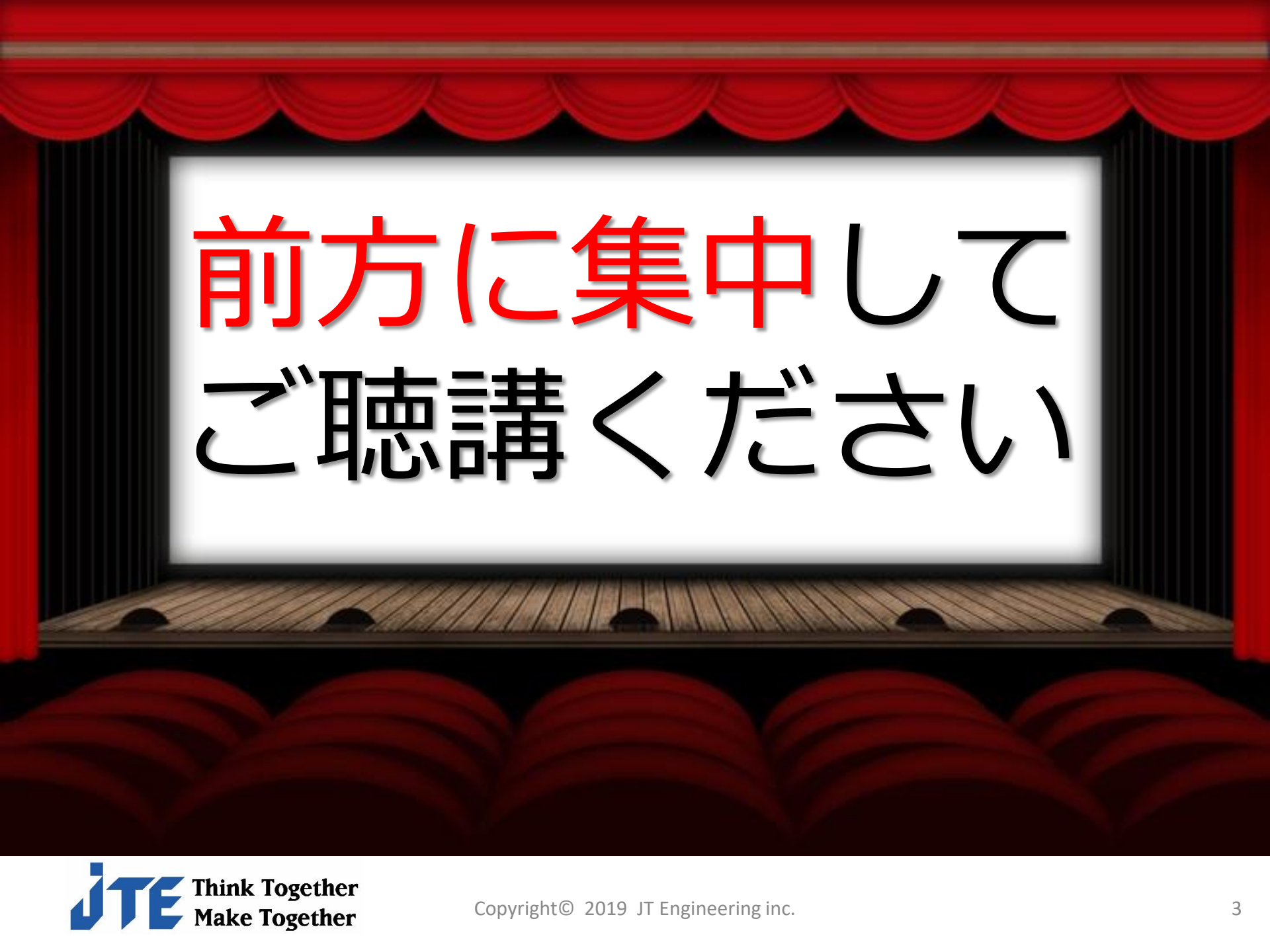


T. Fukuda



お手元に配布資料はありません
(探さないでください)

右上に、このマークの
あるスライド資料は
配布しておりません

A stage with a white screen and red curtains. The screen displays the text "前方に集中して 聴講ください" in red and black. The stage floor is wooden, and the audience seating is visible in the foreground.

前方に集中して
聴講ください

本日お伝えしたいこと

- ① はじめに
- ② 本の概要
- ③ 「ひとり情シス」とは
- ④ 中小企業だからこそRPA？
- ⑤ 経営を強くするRPA導入とは
- ⑥ 弊社のサービス紹介
- ⑦ まとめ

はじめに

ジェイティ エンジニアリング株式会社

JT Engineering inc. (JTE)

設立：1987年（昭和62年）10月 日本たばこ産業株式会社 全額出資





福田 敏博 (ふくだ としひろ)

産業RPA活用アドバイザー

1965年 山口県宇部市生まれ

- ・ IPA 産業サイバーセキュリティ有識者委員
- ・ JIPDEC 制御システムSMS専門部会 委員
- ・ 日本システム監査人協会 理事
- ・ 中小企業セキュリティ推進協会 会長
- ・ ITCイースト東京 理事

保有資格：計39種

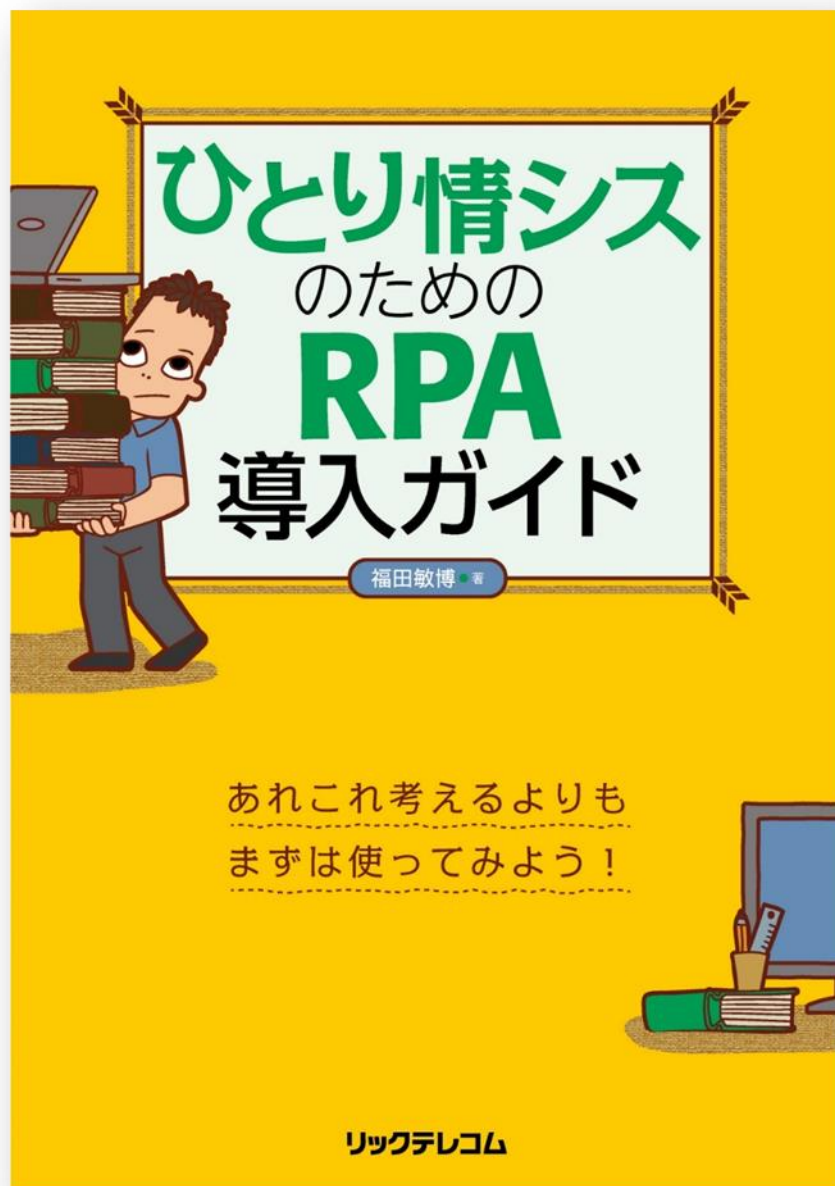
- ・ 技術士（経営工学部門）
- ・ 中小企業診断士
- ・ 情報処理安全確保支援士（登録番号 000086）
- ・ 公認システム監査人（CSA）
- ・ 公認内部監査人（CIA）
- ・ 米国PMI認定 PMP
- ・ ITコーディネータ
- ・ 企業情報管理士
- ・ 情報セキュリティ管理士／監査人
- ・ 上級個人情報保護士／監査人

はじめに> 自己紹介

スライドさばきの達人



本の概要



好評発売中

 Amazonで買う



ひとり情シスのためのRPA導入ガイド



<https://youtu.be/cl0Vgm7lHx0>

Chapter

1

83 個の質問項目

1-1 ▶ 「ひとり情シス」とは	2
Question 01 ITにまつわる業務は増える一方	2
Question 02 今までもこれからも人は足りない	4
Question 03 「ひとり情シス」という名前の由来	6
1-2 ▶ RPAの登場	8
Question 04 RPAとは?	8
Question 05 大手企業ばかりで注目されるが	10
Question 06 本来は中堅中小企業に絶大な効果があるはず	12
Question 07 「ひとり情シス」はRPA導入の強み?	14
Question 08 だからこそ活かせるRPA	16



今和 仁里 (いまわ・ひとり) 君

中堅中小企業である事務用品販売会社に勤務する「ひとり情シス」君。担当部署の人手不足と情報システムについて、日々モヤモヤしたものを抱いている、内気で優しい35歳の草食男子。そんな「ひとり情シス」君が、肉食女子の恋人ができたことを機に一念発起し、「働き方改革」について真面目に取り組むべく立ち上がった！



「IT 経営学者」を名乗る謎のコンサルタント

バブル期に就職し、日本経済の浮き沈みを実感しながらモーレツに働いてきたアラフィフ世代。もちろん「24時間戦えますか？」が勇気のしるし。「働き方改革」なんて、ちゃんちゃらおかしいと思っていた。ところが、RPAとの出会いをきっかけに「労働生産性」の本質や意義を見つめ直すことに。今では「RPAこそが日本の未来を救う」との強い信念で、自称「IT 経営学者」としてコンサルティングに励んでいる。



1-1 ▶ 「ひとり情シス」とは

ITにまつわる業務は増える一方



そもそもIT化が進むと業務は効率化するよね？



私が社会人になったのは、ワープロ専用機（ワープロ）と呼ばれた高価なオフィス機器の導入が大企業で進んだころです。もちろん社員の一人ひとりにワープロが与えられるわけではなく、数十名の部署で数台を共有して使っていました。

ベテランの先輩たちは、「あんなもの使うより手で書いた方がよっぽど早え～」と言って、ワープロをとっても毛嫌いしていました。そのころのワープロは、業務の効率化に貢献するような代物ではなかったと思います。

新人だった私は、いつも気がつけばワープロの前に座っていました。そこは私だけの特別席だったのかもしれませんが。先輩がペンで殴り書きした報告資料を、私がワープロで清書するような日々が続きました。

しかし数年後には、PC98を代表とする国産パソコンの導入が始まり、ワープロ専用機はパソコンの上で動作する「一太郎」などのワープロソフトへと置き換わって行きました。このころには、一人で1台のパソコンを使うような職場環境となり、手書きの書類がどんどん減っていききました。仕方なく先輩たちも、ワープロソフトを「一本指入力打法」でどこちなく使うようになります。そして私は先輩にパソコン操作を教える（とても生意気な）先生役でした。

この後のITの進展はみなさんの記憶に新しいかもしれませんが。マイクロソフトのWindowsが普及して、パソコン同士がネットワークでつながります。もうパソコンなしでは仕事にならなくなりました。そして業務がどんどんと情報システム化されていきます。例えば、事務用品を購入するにはパソコンから購買管理システムの画面を開き、必要な情報を入力して発注手続きを行うことなどです。

このように業務の多くが情報システムを使って処理されるようになると、職場スタッフの人数がどんどん少なくなっていきました。IT化が進み業務の効率化が図れたのは、紛れもない事実です。



でも新たに増えた業務もあるような・・・



しかしその反面、あきらかに増えた業務があります。情報システムの管理業務です。例えば情報システムの初期設定やトラブル発生時の復旧処置など、今まで存在しなかった間接的な業務がたくさん増えてきます。

そう、IT化が進めば、ITそのものにまつわる業務が増えるのです。工場で機械を導入すれば、確かに作業者の手間は減ります。ですが、機械を適切に動かすまでの準備作業や、性能を維持するための保守作業が新たに必要になります。ITもそれと同じです。決して「買ったなら終わり」ではないのです。とても当たり前のことです。



Question 34

3-4 ▶ アプリケーションの自動操作

Excelの操作



事前準備



UiPathでExcelを操作するためのアクティビティがインストールされていない場合は、「デザイン」タブの「パッケージを管理」ボタンを押します(図3-57)。

そして、「UiPath.Excel.Activities」を入力して、パッケージをインストールします(図3-58)。



図3-57



図3-58



操作のシナリオ例



● ワークブックを開く

ここでは、サンプルの住所録「EXCELテスト.xlsx」を取り扱います(図3-59)。「Excelアプリケーションスコープ」アクティビティで、このExcelシートのファイル名を設定します(図3-60)。



図3-59

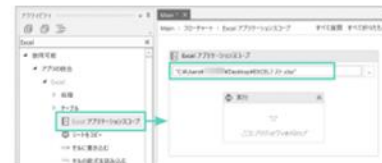


図3-60

● データを読み込む

Excelシートの表データを、DataTable型の変数(変数名はvariable1)へ一括して取り込んでみます(図3-61)。まずは、「範囲を取り込む」アクティビティで対象のシート名(Sheet1)と、取り込み先のDataTable型の(variable1)を設定します(図3-62)。



図3-61

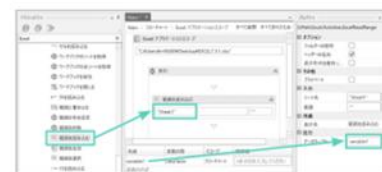


図3-62

ここで一度、DataTable型の変数に正常に読み込むことができるか確認してみましょう。「範囲を取り込む」アクティビティにブレークポイントを設定して、デバッグ実行してみます。そして、デバッグ時に表示される「ローカル」パネルで変数の現在値を確認します(図3-63)。

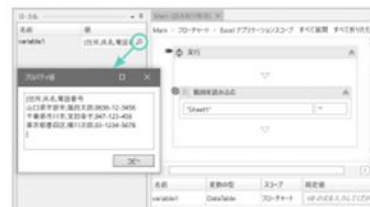
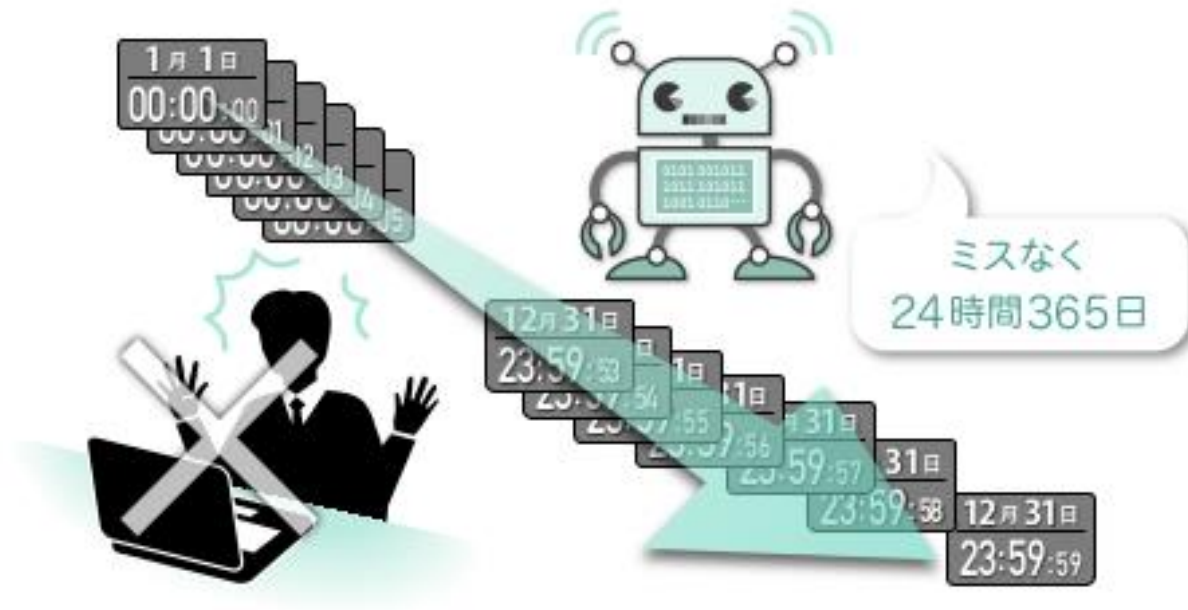


図3-63

RPA ?

Robotic Process Automation



「ひとり情シス」とは

「ひとり情シス」とは

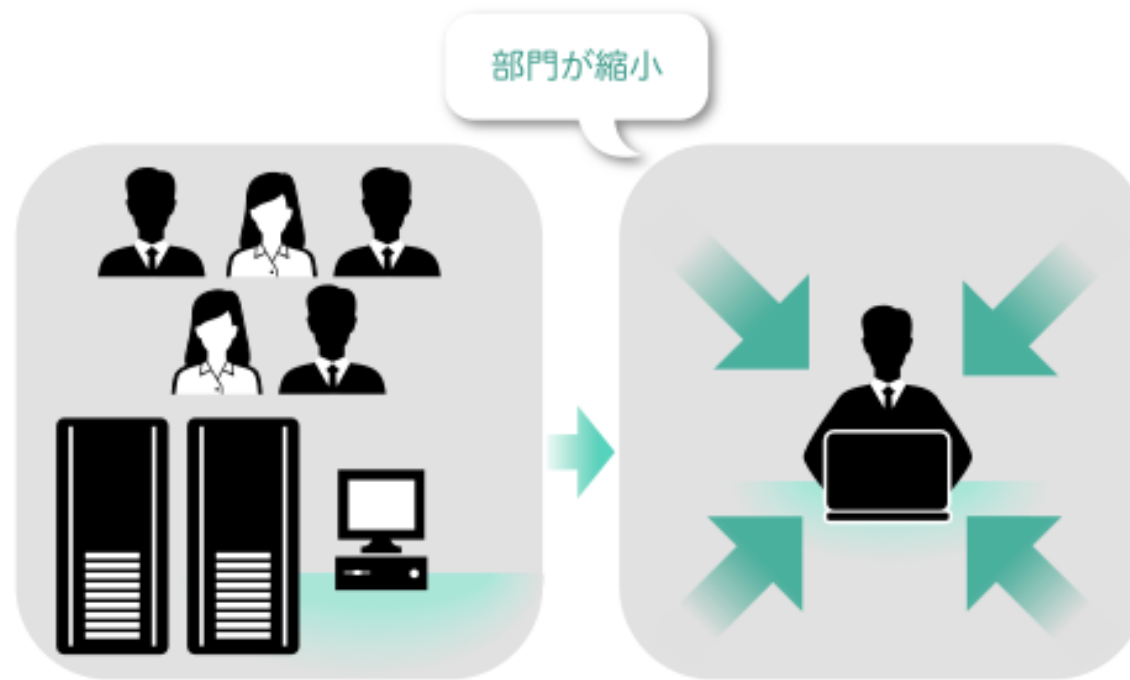
ごく少人数 情報システムを管理

名前の由来は 製造業の 生産方式？

「ひとり情シス」とは

「ひとり」にも
いろいろ

部門が縮小



他部門に居候



「ひとり情シス」とは

ゼロから 1 へ



「ひとり情シス」とは



スーパー多能工

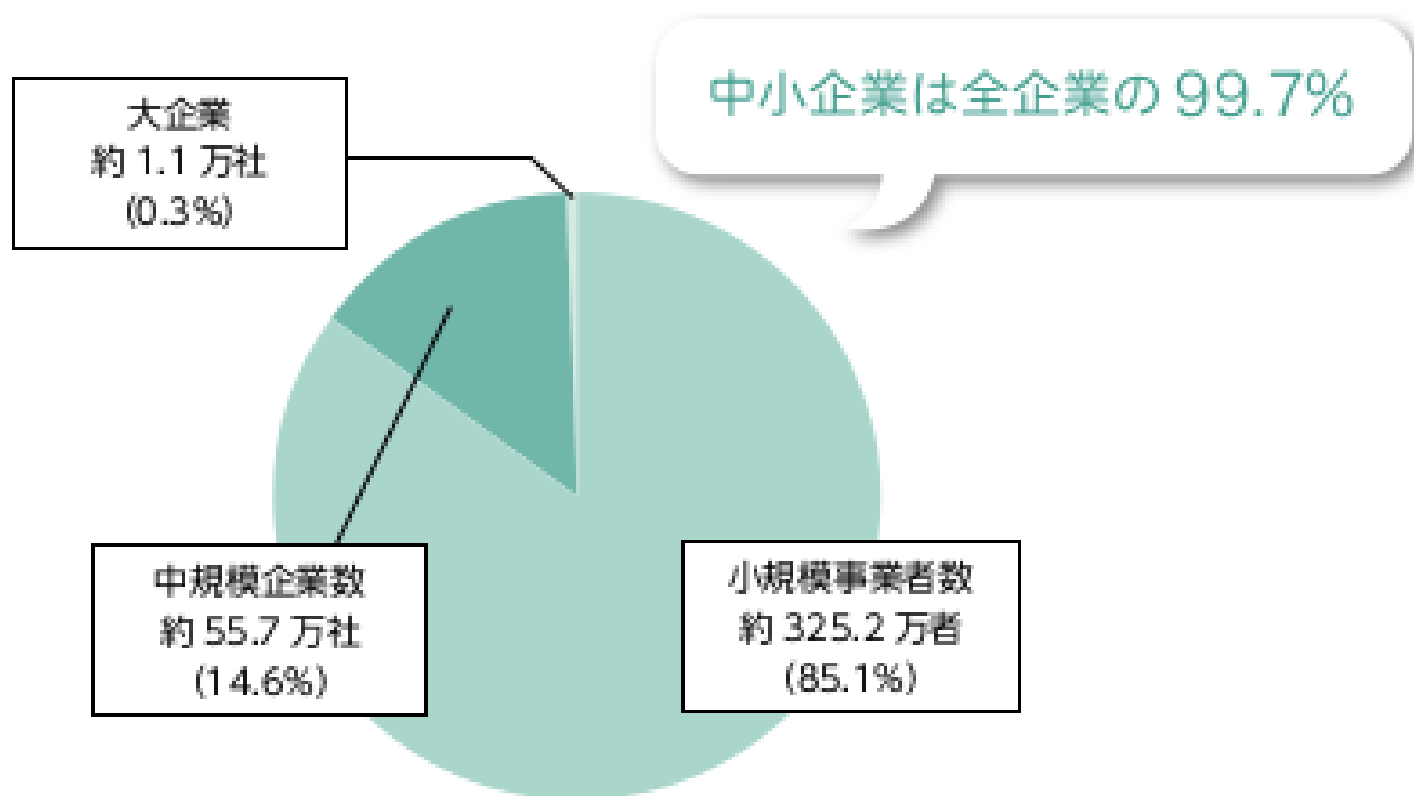
「ひとり情シス」とは

ひとり CIO

Chief Information Officer
(最高情報責任者)

中小企業だからこそ

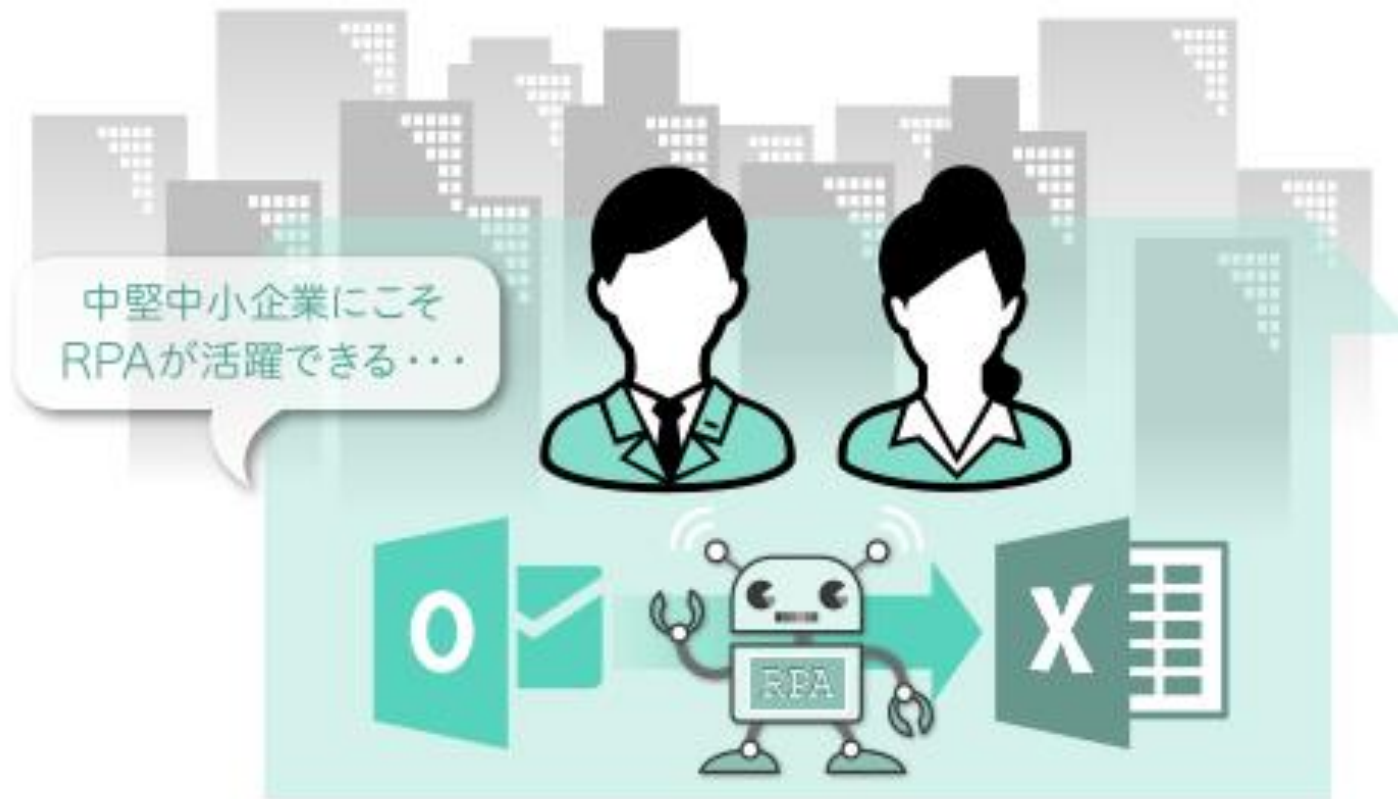
中小企業の定義



出典元：中小企業白書 2018 年度版 中小企業庁

中小企業だからこそRPA？

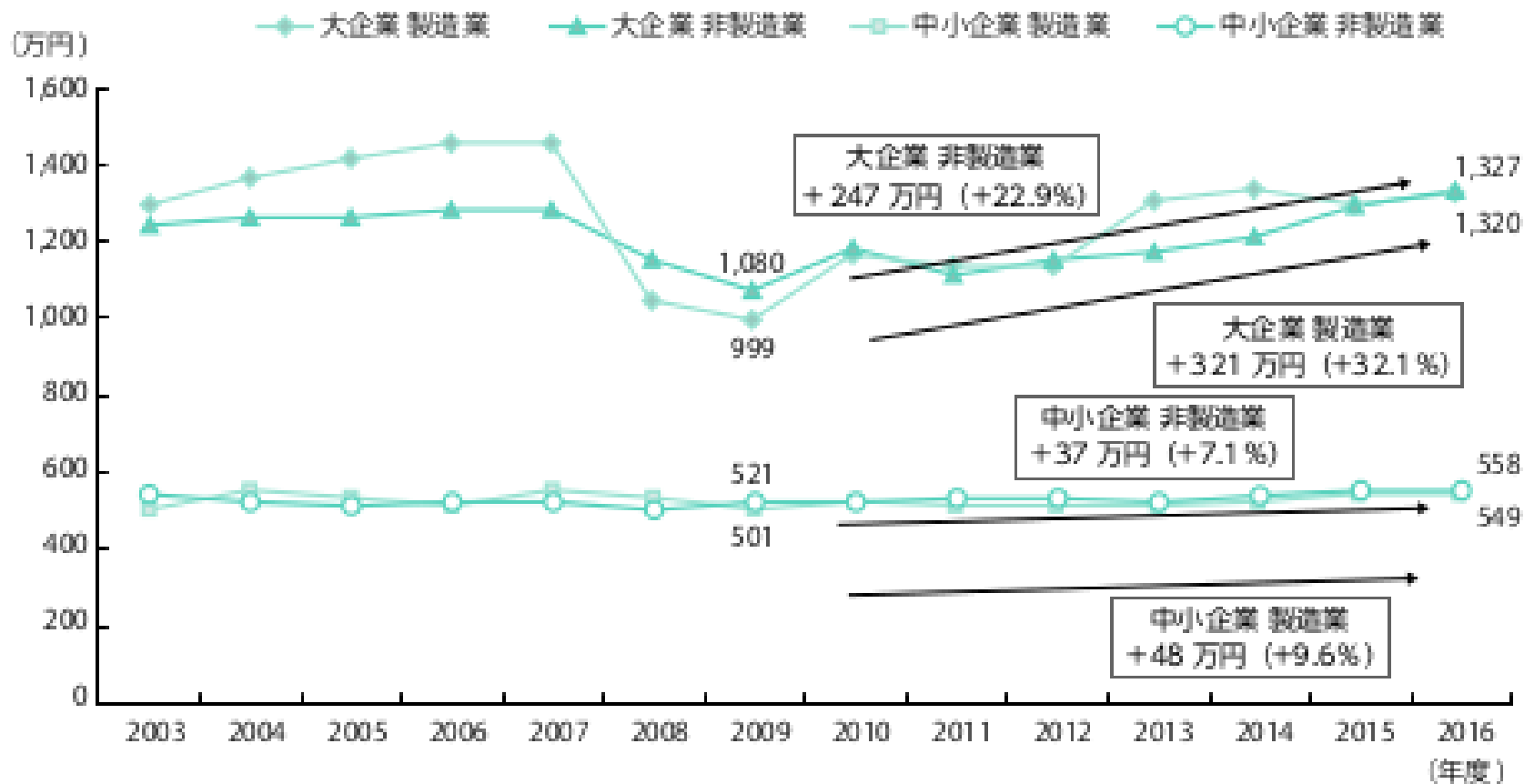
面倒がいっぱい



労働生産性 = 付加価値額 ÷ 従業員数

労働生産性 = 従業員一人当たりの付加価値額
付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

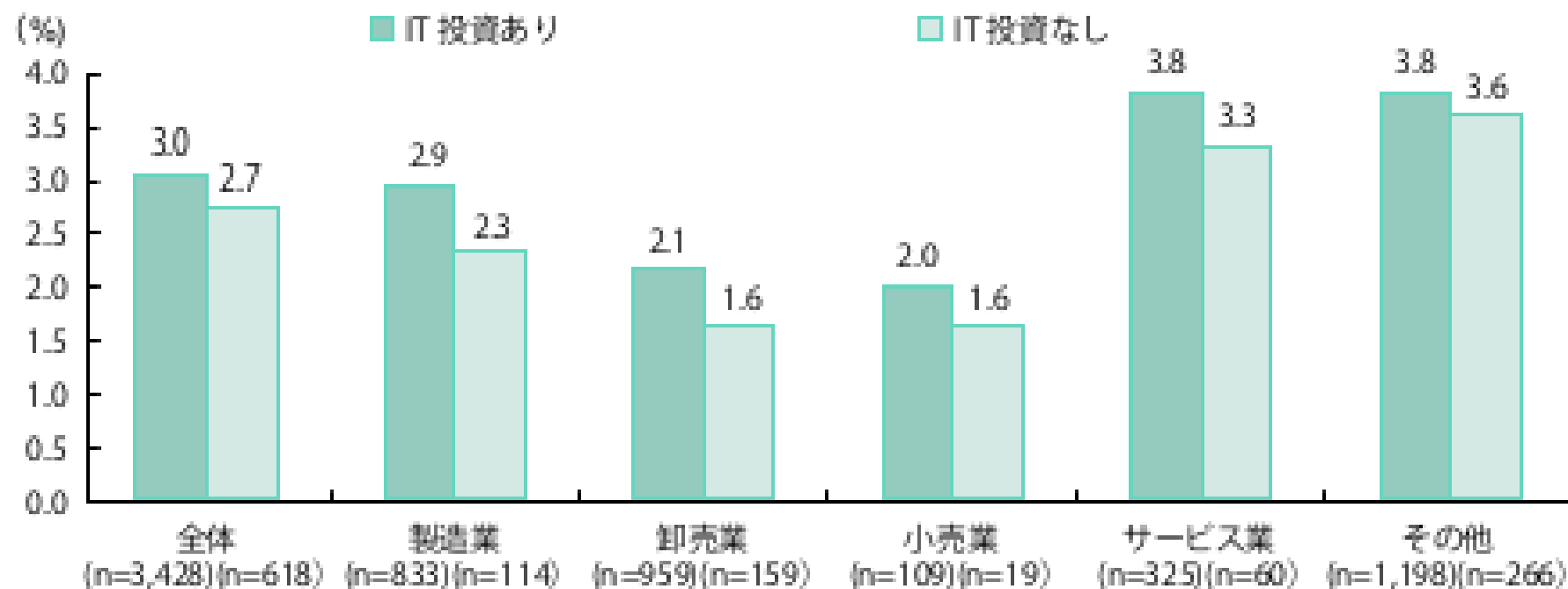
中小企業の労働生産性



出典元：中小企業白書 2018年度版 中小企業庁

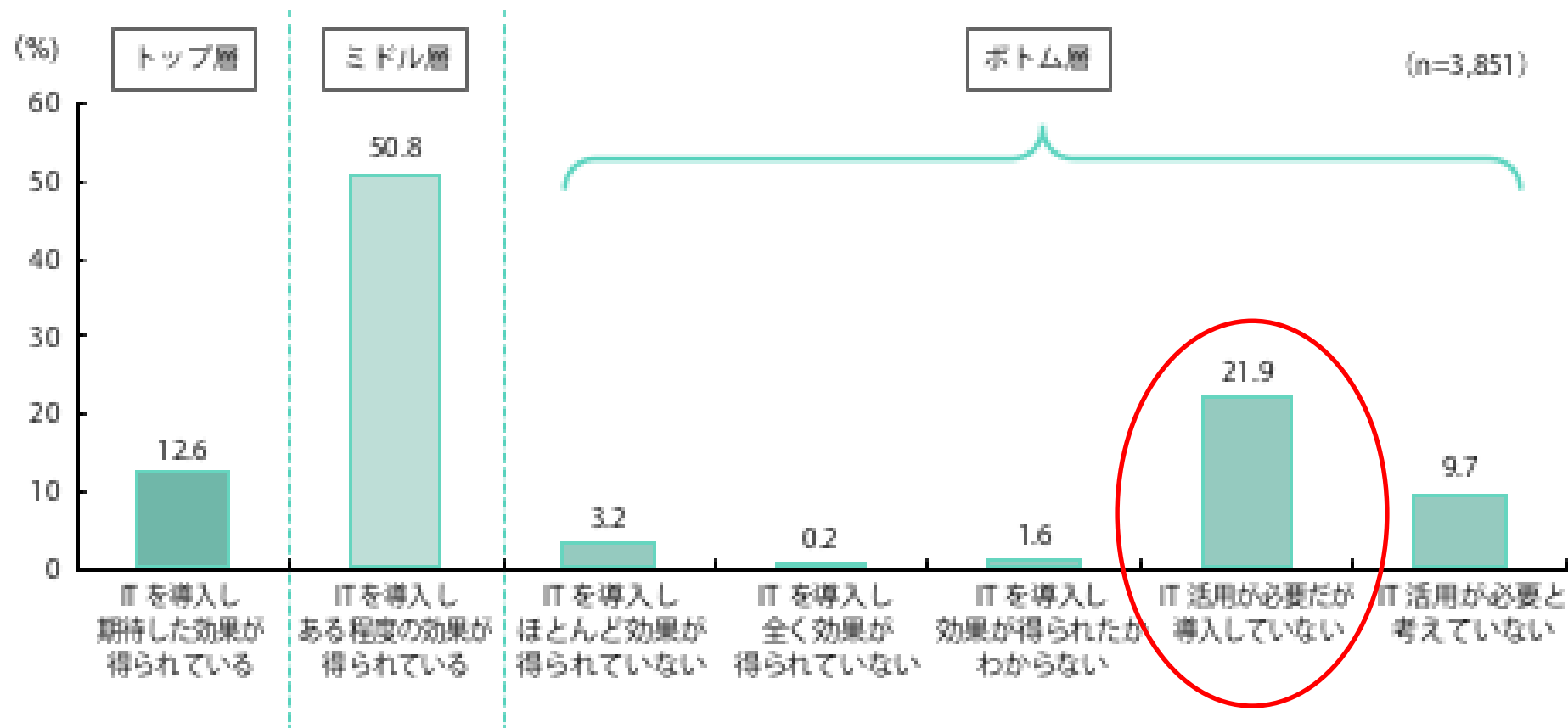
中小企業のIT投資

IT投資有無別の企業の売上高経常利益率



出典：中小企業白書 2016年度版 中小企業庁

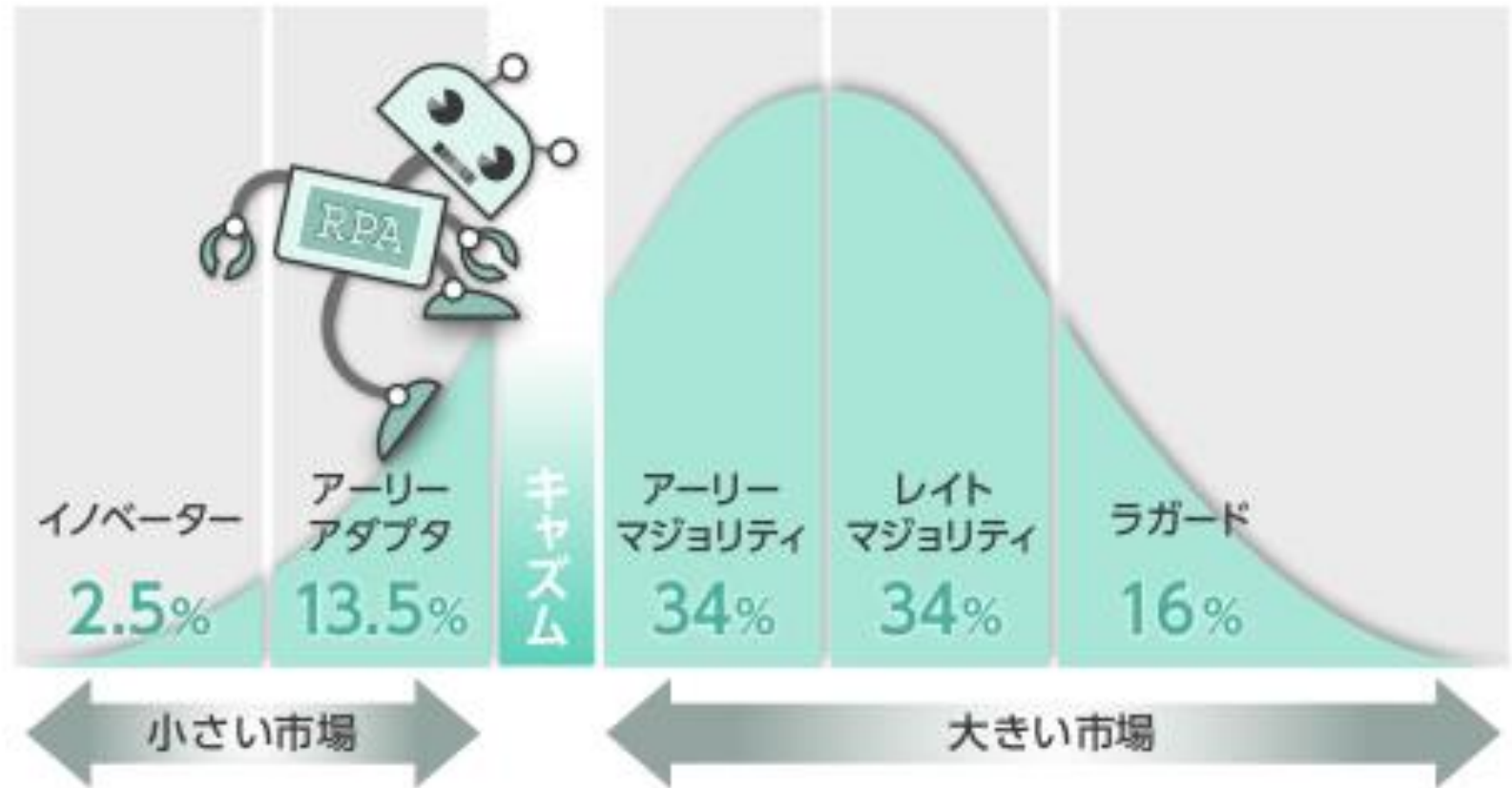
なぜIT投資しない？



出典：中小企業白書 2016年度版 中小企業庁

中小企業だからこそRPA？

RPAの製品市場



中小企業だからこそRPA？

中小企業がターゲット

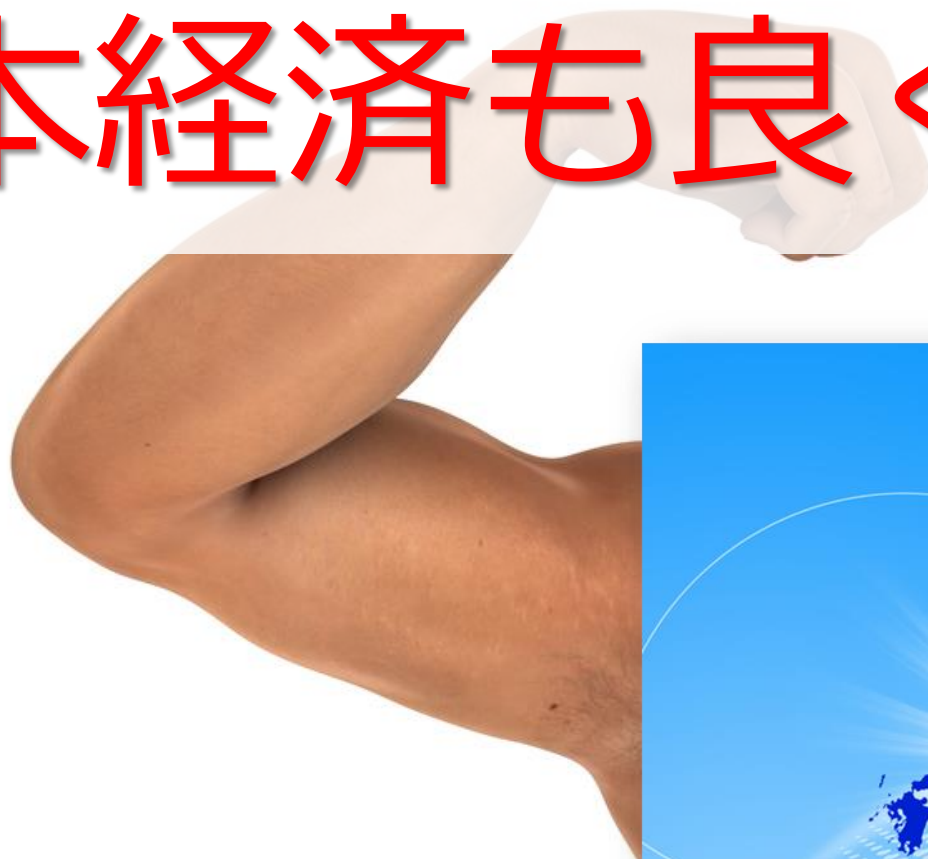


99%以上は中小企業！
すべてがターゲット？



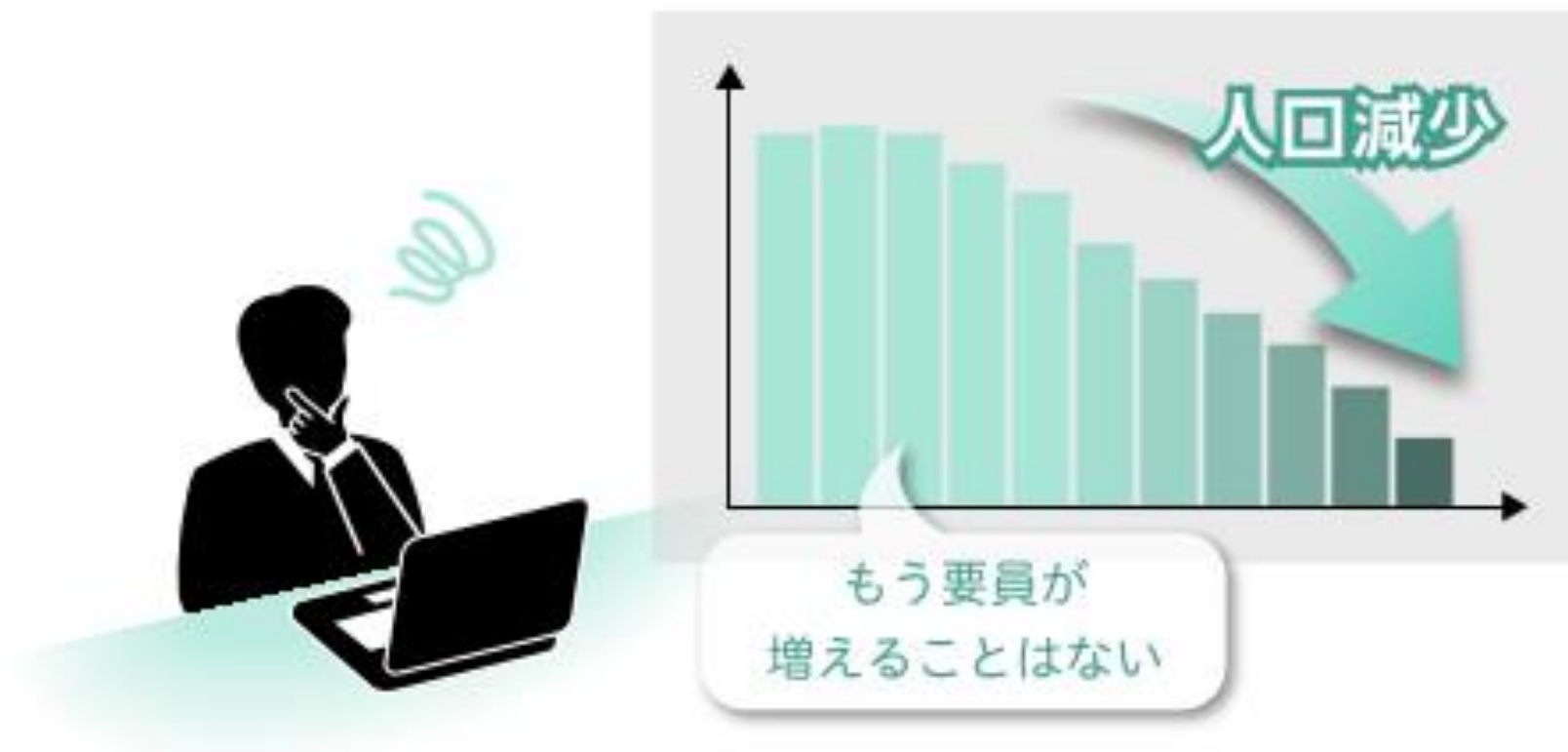
中小企業だからこそRPA？

中小企業が強くなれば 日本経済も良くなる



経営を強くするRPA

これからの世の中



RPA導入するにも

経営視点でより強くなる



ITと経営をつなぐ



単なる導入ではダメ



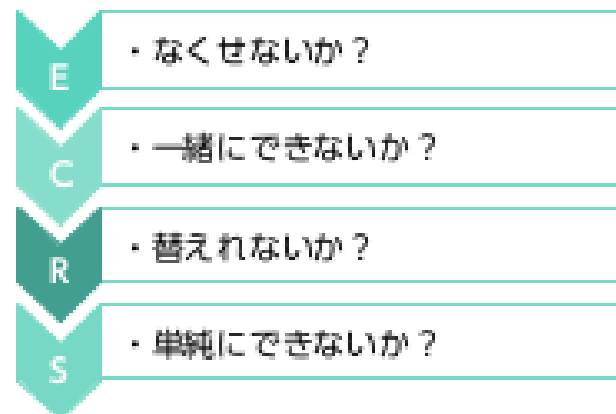
ITは単なるコストか？

まずは業務改善

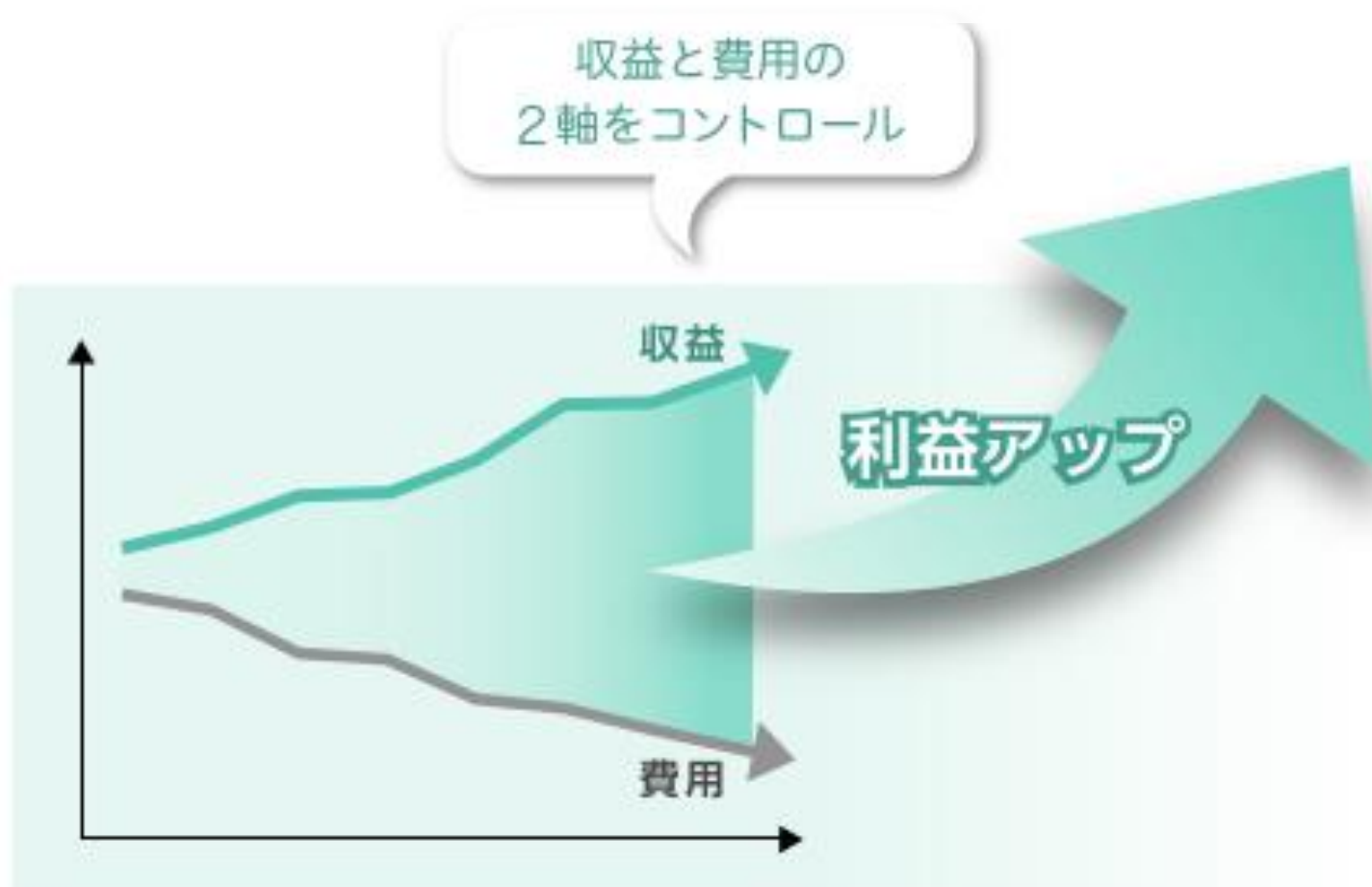
- ① なくせないか (Eliminate)
- ② 一緒にできないか (Combine)
- ③ 替えられないか (Rearrange)
- ④ 単純できないか (Simplify)

ぜひこの順番で考えてみてください。

ECRS の原則



中長期的な利益へ

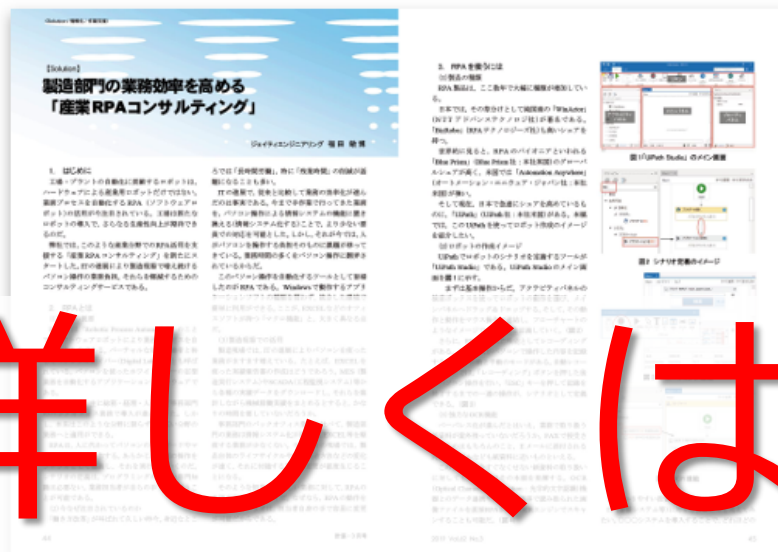


弊社のサービス

産業 RPA コンサルティング

ソフトウェアロボットの活用でさらなる生産性の向上を

サービス内容の詳細



サービス内容を紹介したPDF冊子を無料でお送りします！

【目次】

1. はじめに
2. RPAとは

詳しくはPDF冊子

<https://www.jte.co.jp/iRPA/>

以下のフォームにご入力をお願いいたします。

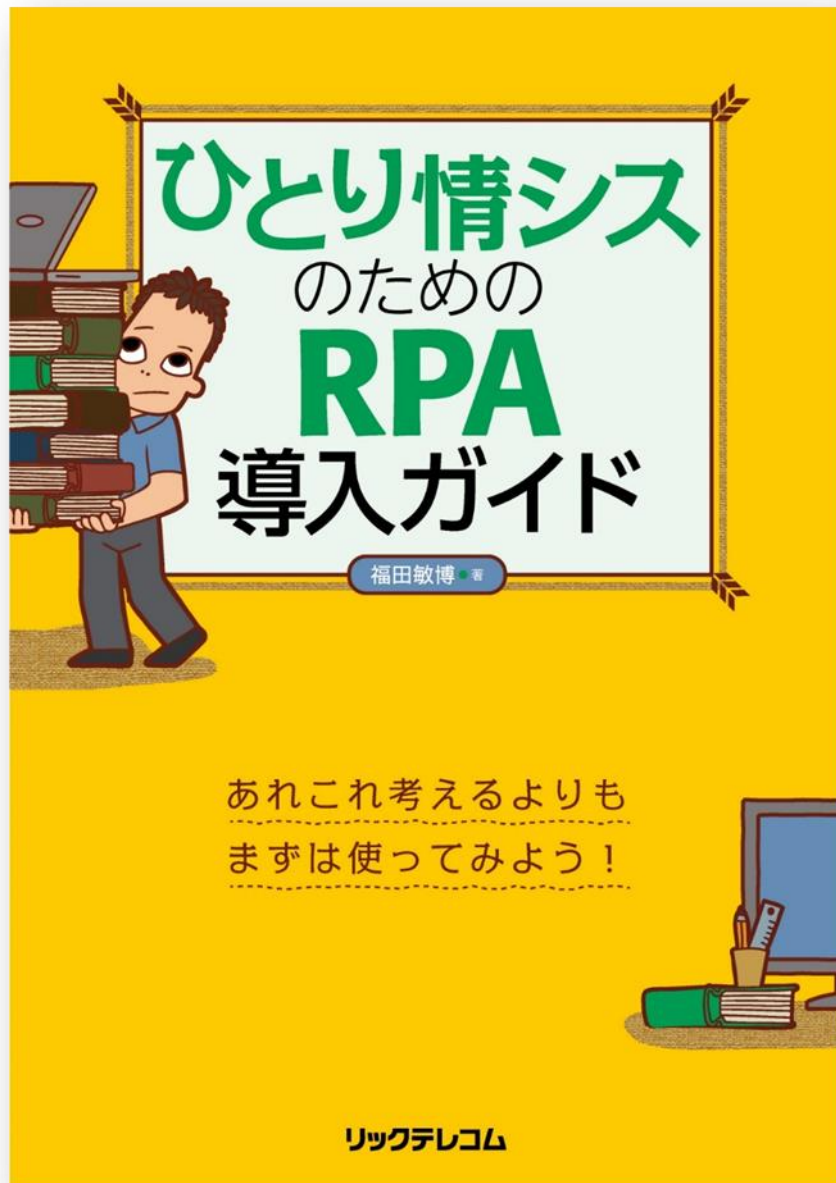
※は必須入力項目です。

※サービス名

産業RPAコンサルティング・サービスのPDF冊子を贈呈中（無料付付）

「お問い合わせフォーム」より冊子希望にてご連絡ください。PDF冊子を申込する（無料）

まとめ



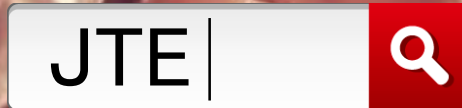
好評発売中

 Amazon で買う





ご清聴ありがとうございました



<http://www.jte.co.jp/iRPA/>
toshihiro.fukuda@jt.com